

## 校長室だより①今年度も「つながり」を大切に

新たに 291 人の新入生を迎え、今年度はスタートしました。

教室をのぞくと、少し緊張しながら、先生の話真剣なまなざしで聞いている生徒のみなさんの姿がありました。

そんな生徒のみなさんがこれからどんな 1 年間で過ごしていくのだろうと思うと、ワクワクしています。

今年度も、本校のテーマは「つながる」です。この間、さまざまな場面で話をしてきましたが、入学式や始業式でも話をしました。

そして、つながることは「誰とでも仲良くしよう」ということではなく、苦手だと感じる人とも、必要があれば、最低限のコミュニケーションを取って、つながりを持てるようにしていきますと話しました。

まず始めは、あいさつを交わすことからとも話しましたが、朝から「おはようございます」とあいさつをしてくれる人が出てきて、うれしかったです。学校でも家でもあいさつを「返す」のではなく、自らあいさつをするように心がけましょう。

また、もう一つ。

これもいつも話していることですが、「やればできる」のではなく、「やらなければならない」のだということ。

挑戦したことがすべて成功するとは限りませんが、始めてみないと、挑戦してみないと何もスタートしないという話をしました。

中学校は、失敗を恐れずに挑戦できる場所です。

失敗は決して悪いことではなく、なぜ失敗したのかをしっかりと考え、その経験を次に活かすことが大切です。

そして、成功したことだけでなく、失敗したことからもたくさん学べることはあります。

時には周りを困らせたり、叱られたりすることもあるでしょうが、たくさん叱られて、次につなげてください。

そして、もう一つ。

学校は、生徒のみなさん、教職員や事務職員など、さまざまな人が一緒に生活しています。一人として、「同じ人」はいません。

このことは言葉で理解していても、なかなか心の底から理解しているとはいかないようで、特に一学期は、自分の思いをうまく伝えられなかったり、相手の思いをうまく汲み取れなかったりして、さまざまなトラブルが起こります。

これから、「学校にはいろいろな人がいる。一人ひとり違って当たり前。違う人が集まっているからこそ、つながっていくからこそ、みんなにとって心地よい学校を作っていける可能性がある。それぞれが個性を發揮して、でも周りのこともよく見て、違いを大切にして、ひとつにつながれば、素晴らしい力を發揮できる。」ということをさまざまな場面で伝えていきたいと考えています。

さあ、新たな 1 年間のスタートです。

自分とは違う「いろいろな人とつながり」ながら、自分の可能性を広げていきましょう。